

年頭所感

2011. Tsuyama



津山市長 宮地 昭 範

新年明けましておめでとうございます。
皆様には輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
さて、人口減少時代を迎え、少子高齢化や景気低迷など本市を取り巻く状況が厳しさを増す中、私たちの愛する津山を守り、発展させるためには、市民の皆様とともにまちづくりを考え、目指すまちの姿を共有し、真に必要な施策を実行しなければなりません。

こうした中、私は昨年3月の市長就任以来「対話と相互理解」を基に、地域の皆様の声を伺う「市民と市長との地域懇談会」や現場の声が市政に反映される組織づくりを行っているところです。

また、市の財政健全化も喫緊の課題であり、まずは私を含めた特別職の報酬削減を行うとともに、第9次行財政改革計画を取りまとめたほか、今年1月には市民の皆様にもご参加いただき「津山市版事業仕分け」を行うこととしています。

歴史と伝統ある津山市が将来も輝き続けることができるよう、今後も市民の皆様との「対話」を基に「笑顔あふれる ふるさと津山」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多い良き年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

津山市議会議員 森 下 寛 明

新年明けましておめでとうございます。

市議会より、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年のが国の経済は、景気の低迷から脱却ができず、新卒者の就職内定率の落ち込みに代表される雇用不安、生活不安など、大変厳しい事態に見舞われました。

本市においても、依然として厳しい財政状況であります。しかし、こうした状況にあっても、本市は岡山県北地域の中核都市としての拠点性を高め、活力・魅力ある都市とするため、津山圏域クリーンセンターの建設や行財政改革、少子高齢社会への対応などの諸課題に積極的に取り組んでいかなければなりません。

市議会としましては、市民の皆様が多様な意見を集約し、市政に適切に反映する使命を果たすため、今後も市民生活を支え、本市の将来を見据えながら、真の住民意思に基づく市政の実現を目指してまいります。

どうか本年も市議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして、この一年が幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げて、ごあいさつといたします。

